



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社 東洋製作所
コード番号 6443 URL <http://www.h.toyo-ew.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 企画経理部長 (氏名) 萩谷 英治

TEL 046-272-3015

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,700	2.9	△208	—	△203	—	△89	—
24年3月期第2四半期	8,451	5.9	△767	—	△786	—	△541	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 △98百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △552百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△4.25	—
24年3月期第2四半期	△25.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	15,901	6,094	38.3	289.72
24年3月期	17,257	6,236	36.1	297.38

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 6,087百万円 24年3月期 6,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	11.3	400	—	400	—	5,000	—	238.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	22,296,204 株	24年3月期	22,296,204 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,283,427 株	24年3月期	1,349,566 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	20,980,337 株	24年3月期2Q	20,849,173 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかな回復傾向は見られるものの、欧州の債務危機の影響によるアジア諸国の景気減速などにより輸出が伸び悩むなど景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の関連する食品加工業界、自動車業界、建設業界、冷凍・空調設備業界においては、設備投資の低迷が継続しており、依然として厳しい状況が続いております。

このような事業環境において当社グループは、「環境保全」・「省エネ」をキーワードとして新製品開発、コストダウンの一層の推進、業務の標準化・効率化に鋭意取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,700百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。損益につきましては、営業損失208百万円（前年同四半期は767百万円の損失）、経常損失203百万円（前年同四半期は786百万円の損失）、四半期純損失89百万円（前年同四半期は541百万円の損失）となりました。

なお、当社グループは不透明な経済状況のもと今後競争力を強化し、各事業を成長軌道へ回帰させて行くことを目的とした構造改革を実施しており、事業構造改革費用として本社機能の集約を伴う組織再編費用等を計上しております。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

〔エンジニアリング事業〕

自動車産業向け環境試験装置や食品工業向けの冷却設備等の工事が順調に進捗しており、また前期から利益確保の受注に努めてきた成果や予算管理の徹底による原価低減などにより、売上高は4,552百万円（前年同期比1.6%増）、営業損失は199百万円（前年同四半期は609百万円の損失）となりました。

〔空調事業〕

地球温暖化対策や省エネ製品に対する要望に応えるため、次世代型省エネ空調機「新セーブ王」、大幅な省エネ効果を発揮する「ダイレクトX」、高温多湿な作業環境を快適空間に改善するスポットクーラー「助っ人」など当社技術の優位性を活かした製品の開発・拡販に注力したことにより、売上高は4,257百万円（前年同四半期比5.1%増）、営業損失は16百万円（前年同四半期は営業損失165百万円）となりました。

〔その他〕

人材派遣および損害保険代理店業については、売上高190百万円（前年同四半期比6.5%減）、営業利益8百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,355百万円減少し、15,901百万円となりました。

流動資産は13,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,478百万円減少しました。これは主に前期末に計上した売上債権の回収が進み、受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は2,580百万円となり、前連結会計年度末に比べ122百万円増加しました。これは主に設備投資により有形固定資産が増加したことによるものであります。

流動負債は6,687百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,293百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

固定負債は3,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加しました。これは主に退職給付引当金が増加したことによるものであります。

純資産は6,094百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円減少しました。これは主に四半期純損失の計上や剰余金の配当により利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、現段階では平成24年7月30日に発表致しました業績予想に変更ございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,586	3,331
受取手形及び売掛金	10,320	7,940
商品及び製品	327	274
仕掛品	226	196
未成工事支出金	472	585
原材料及び貯蔵品	492	487
繰延税金資産	122	300
その他	251	204
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	14,799	13,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	729	784
機械装置及び運搬具(純額)	151	137
土地	825	825
その他(純額)	71	102
有形固定資産合計	1,777	1,849
無形固定資産	68	63
投資その他の資産		
投資有価証券	523	508
その他	137	197
貸倒引当金	△48	△38
投資その他の資産合計	611	667
固定資産合計	2,457	2,580
資産合計	17,257	15,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,821	4,779
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	252	235
工事損失引当金	61	75
その他	745	1,496
流動負債合計	7,981	6,687
固定負債		
長期借入金	643	634
退職給付引当金	2,344	2,433
その他	52	52
固定負債合計	3,039	3,119
負債合計	11,020	9,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,334	2,334
資本剰余金	1,470	1,470
利益剰余金	2,506	2,363
自己株式	△197	△187
株主資本合計	6,113	5,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136	125
為替換算調整勘定	△21	△18
その他の包括利益累計額合計	115	107
少数株主持分	7	6
純資産合計	6,236	6,094
負債純資産合計	17,257	15,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	8,451	8,700
売上原価	7,580	7,321
売上総利益	871	1,379
販売費及び一般管理費	1,639	1,587
営業損失(△)	△767	△208
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
不動産賃貸料	7	7
その他	4	4
営業外収益合計	19	19
営業外費用		
支払利息	13	8
為替差損	17	1
その他	6	5
営業外費用合計	37	15
経常損失(△)	△786	△203
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
事業構造改革費用	—	94
その他	—	16
特別損失合計	—	110
税金等調整前四半期純損失(△)	△786	△311
法人税、住民税及び事業税	16	16
法人税等調整額	△257	△237
法人税等合計	△241	△220
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△545	△91
少数株主損失(△)	△4	△2
四半期純損失(△)	△541	△89

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△545	△91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△10
為替換算調整勘定	18	3
その他の包括利益合計	△7	△7
四半期包括利益	△552	△98
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△550	△97
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△786	△311
減価償却費	86	76
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△10
退職給付引当金の増減額(△は減少)	70	89
受取利息及び受取配当金	△7	△7
支払利息	13	8
売上債権の増減額(△は増加)	2,256	2,378
たな卸資産の増減額(△は増加)	△387	△25
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,370	△2,035
前受金の増減額(△は減少)	50	82
その他	△81	△81
小計	△157	162
利息及び配当金の受取額	7	7
利息の支払額	△12	△8
法人税等の支払額	△34	△17
営業活動によるキャッシュ・フロー	△197	144
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39	△141
無形固定資産の取得による支出	△18	△5
有形固定資産の売却による収入	—	820
その他	△3	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61	666
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△250	—
長期借入れによる収入	550	—
長期借入金の返済による支出	△816	△25
配当金の支払額	△103	△52
その他	6	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△613	△69
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△853	744
現金及び現金同等物の期首残高	4,132	2,586
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,279	3,331

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	空調事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,480	3,959	8,439	12	8,451	—	8,451
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	90	90	191	281	△281	—
計	4,480	4,049	8,529	203	8,733	△281	8,451
セグメント利益又は 損失(△)	△609	△165	△775	7	△767	—	△767

(注)1 「その他」は、人材派遣、損害保険代理店業に関する事業を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	空調事業 (注)3	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,552	4,134	8,686	13	8,700	—	8,700
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	122	122	176	299	△299	—
計	4,552	4,257	8,809	190	9,000	△299	8,700
セグメント利益又は 損失(△)	△199	△16	△216	8	△208	—	△208

(注)1 「その他」は、人材派遣、損害保険代理店業に関する事業を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 第1四半期連結会計期間より機器事業から空調事業へ名称変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間についても名称を変更しております。